JAAS
Japanese Association for the Advancement of Science

日本の科学を、もっと元気に！

2021 年度　年次報告書

日本の科学が危機に瀕しています。日本の科学の凋落を食い止め、復活させ、明るい未来の礎を築くためには、科学の振興に意欲を持つ多彩な立場の人々が対話・協力し、科学がこれまでに果たしてきた役割を分析・理解し、その理想的なあり方を検討し実現する必要があります。日本科学振興協会（Japanese Association for the Advancement of Science ; JAAS）は、分野、組織、職種、職階、世代の垣根を超え、科学の振興に意欲を持つすべての人が参加することができる NPO 法人です。

https://jaas.science/

特定非営利活動法人
日本科学振興協会

目次

代表理事あいさつ・・・・・・・・・・・・・・P.3
法人設立までの"流れ"・・・・・・・・・・・・P.4
ＪＡＡＳビジョン１．０・・・・・・・・・・・P.5
第１回総会・キックオフミーティング・・・P.6
第１回総会スポンサー一覧・・・・・・・・・P.9
ＪＡＡＳの活動・・・・・・・・・・・・・・・P.10
入会・継続案内・・・・・・・・・・・・・・・P.18
メディア掲載実績・・・・・・・・・・・・・・P.19
事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.20

第1期　代表理事あいさつ

代表理事　小野 悠

ＪＡＡＳは、科学者だけでなく、科学にさまざまな形で関わる人、関わりたいと思う人が参加できる新しい科学コミュニティを目指しています。科学がわたしたちの好奇心をかきたてるワクワクするものとして、また、暮らしや文化を豊かにしてくれるものとして、社会に力強く根を張り、未来の可能性を広げてくれることを願っています。わたしたちの挑戦は、草の根的に集まった多様な人々が、科学をそれぞれの立場から語り、実践することで一人ひとりの想いを大きな力に変えていく場をつくることです。それがＪＡＡＳのブランド、ひいては世界に誇れるコミュニティモデルになると信じています。ＪＡＡＳが描く未来のありたい姿と実現に向けた取り組みを、引き続きさまざまな関係者のみなさまとの対話・協働を通じて形づくっていきたいと考えています。

代表理事　馬場 基彰

ＮＰＯ法人を速やかに作りたいのであれば、行政書士にそれなりのお金を払い、適切な手順に従って進めていけば、数ヶ月で作ることができたようです。しかし、ＪＡＡＳ設立では、先に数百名を集めるという手順をとり、結果として、ＮＰＯ法人設立に約１年を掛けました。名称、定款、設立趣旨書、理事などを、それなりの合意の下で決めてきたからです。振り返ってみれば、多様な人々との対話と協働の第一歩として、ＮＰＯ法人（日本版ＡＡＡＳ）設立を最初の目標に設定し、それを達成したということかと思います。とはいえ、各自が目指すもの，やりたいことは多種多様であり、それらを多様な状態のまま、様々な活動を実施・支援していくのがＪＡＡＳという団体です。「日本の科学をもっと元気に」という看板の裏側で最初に待ち構えているのは、自分とは異なる考えを尊重するということではないかと思います。

副代表理事

加藤 奈々美　諏訪 智巳　林 愛子

理事

大賀 哲	大竹 暁	太田 航	春日 匠	河上 薫	北原 秀治
清原 康介	黒ラブ教授	住井 英二郎	田中 智之	田中 悠平	並木 重宏
原山 優子	坂内 博子	松居 彩	松山 奈穂子	峰 宗太郎	宮川 剛
三輪 秀樹	村瀬 亮太	森 章	森 真由美	山形 方人	山田 祐樹

監事

榎木 英介　岸村 顕広　中村 多美子

法人設立までの"流れ"

2021年2月　日本版AAAS設立準備委員会発足

「日本の科学をもっと元気に！」という想いから、対話を通じた科学の振興を行うボトムアップ型の組織として日本科学振興協会(Japanese Association for the Advancement of Science; JAAS)を設立するため、2021年2月に日本版AAAS設立準備委員会が正式に発足しました。

2021年7月　正式名称 日本科学振興協会(JAAS) に決定

設立準備委員会では、出来るだけ多くの人々からの声を取り入れて名称を決めるためにはどのようにすればいいのか、対話を重ねてまいりました。そして公募を行い、投票の結果JAASに決定しました。発足から5か月間ほどの時間がかかりましたが、まさしくこの組織の理念である "対話" と "協働" が体現できた活動となりました。

JAAS 日本科学振興協会

JAASのロゴは広い世界との交流やネットワークの大切さ、互いを認め合い多様性を尊重する世界観をイメージしています。 左側の図案は多様な人々がつながり合うネットワークの姿を、カーブを大きく伸ばした英字の「J」はネットワークを支える構図になっています。

2022年2月　NPO法人 日本科学振興協会(JAAS) 設立

2022年2月22日付けでNPO法人日本科学振興協会（JAAS）が設立されました。ご支援を賜りました皆様に、厚く御礼を申し上げます。

JAASビジョン1.0

JAAS第1期理事会では、さまざまな人々との対話と協働のためには会の方向性を示す必要があると考え、ビジョンタスクチーム（以下、ビジョンTT）を設置しました。ビジョンTTは代表理事・副代表理事に公募メンバーを加えた8名で構成され、公開議論やアンケート調査などを通して幅広く意見を募りながら「ビジョン1.0」を取りまとめ、第1期理事会に提出しました。

ビジョンTTではJAASの活動をする際の拠り処となることを意識しながら「ビジョン1.0」を策定しました。ビジョンの後ろに「1.0」と付けたのはJAASの活動が広がっていくなかで、ビジョンを見直すときが来ると考えるからです。今回発表した「ビジョン1.0」はスタートに過ぎません。また新たなビジョンタスクチームが結成され、「ビジョン2.0」「ビジョン3.0」と発展していくことを期待しています。
なお、この「ビジョン1.0」は意見交換会、公開議論、アンケート、Slack上などを介して、多くの方のご意見をいただきながら策定されました。すべてのみなさんが納得する文言にすることは非常に困難でしたが、できるだけ共通するところを探りながら、現在の形にまとめられています。策定にご協力いただいたみなさんには改めて御礼を申し上げます。
今後も、JAASに関わる方々が考え続け、よりよいビジョンを掲げ、JAASの活動が発展することを願っています。

CHECK

公式サイトのブログ「**JAASビジョン1.0策定　ー日本の科学をもっと元気にするにはー**」では、ビジョン策定までの議論やTTがビジョンに込めた思いなど、より詳しいコンテンツが掲載されています。

第1回総会・キックオフミーティング

日本科学振興協会はNPO法人設立後、初めての大型イベントとして第1回総会・キックオフミーティングを開催しました。会期は2022年6月18日から24日までで、18日と19日の2日間は東京国際交流館 プラザ平成（東京都江東区）をお借りし、ハイブリッド形式で開催しました。

開催概要

会議名称　：　日本科学振興協会　第 1 回総会・キックオフミーティング
会　　期：　2022 年 6 月 18 日（土）～24 日（金）
6月18日（土）～19日（日）：ハイブリッド開催
6月20日（月）～24日（金）：オンライン開催
会　　場：　東京国際交流館プラザ平成（6 月 18-19 日のみ）
主　　催：　特定非営利活動法人日本科学振興協会(JAAS)
後　　援：　科学技術振興機構、日本学術振興会、日本学術会議、文部科学省
運営事務局：　株式会社 エー・イー企画

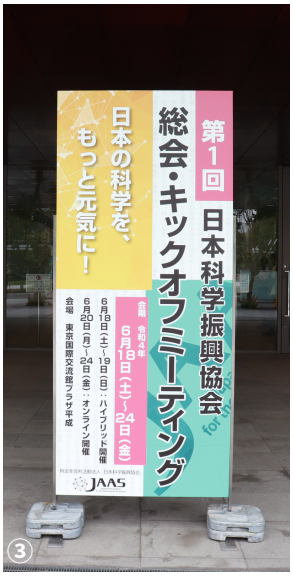
実行委員会

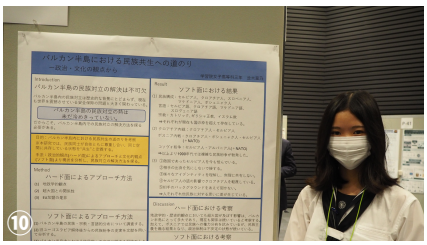
委員長：北原 秀治（東京女子医科大学）
委　員：太田 航（横浜市立大学）、諏訪 智巳（三菱電機）、野崎 光太（Srust）、林 愛子（サイエンスデザイン）
深澤 知憲（エマージングテクノロジーズ）、吉田 智美（筑波大学）

プログラム委員会

委員長：宮川 剛（藤田医科大学）
委　員：小野 悠（豊橋技術科学大学）、池田 和隆（東京都医学総合研究所）、江端 新吾（東京工業大学）
大竹 裕香（九州大学）、加納 愛（カクタス・コミュニケーションズ株式会社）
木村 宏（東京工業大学/外部委員）、近藤 滋（大阪大学）、柴藤 亮介（アカデミスト株式会社）
坂内 博子（早稲田大学）、藤田 信太郎（株式会社 日テレ アックスオン）、宮野 公樹（京都大学）
三輪 秀樹（国立精神・神経医療研究センター）、森 章（東京大学先端科学技術研究センター）

6月18～19日ハイブリッド開催の様子





①パネルディスカッション「誰もが科学する社会を創ろう！」　②筑波大学の柳沢正史先生による基調講演　③会場入り口の立て看板　④ポスター発表の様子　⑤会場からインターネット配信　⑥開会前のメディア懇話会　⑦大勢のスタッフが運営に参加　⑧ワークショップ「科学を楽しむ場を創ろう！」　⑨受付　⑩学生もポスター発表に参加　⑪6月19日の交流会

6月20～24日オンラインプログラム一覧

◆6月20日（月）

共催シンポジウム１　計量テキスト分析と社会科学
ワークショップ1　JAAS環境カフェ（対話イベント）
ワークショップ2　「科学とはなにか」を改めて問う　～異なる「科学」への視点を対話する～
ワークショップ3　日本のサイエンス・コミュニケーションのリアルな現在地を、
新参キャスターが赤裸々に聞く！
共催シンポジウム2　海外研究留学で日本の科学を元気にする！―高校生と日本人留学生・研究者の対話

◆6月21日（火）

ワークショップ4　博士学生のためのキャリアガイダンス
～アカデミアでも企業でもどこでも可能性は無限大～
共催シンポジウム4　対話でつむぐ、未来社会　～科学技術を社会変革につなげるには～
共催シンポジウム5　サイエンスコミュニケーションの本来の目的は何であろうか？
語り手には十分な熱意があるのであろうか？
また受け手はそこから何を得られているのだろうか？

◆6月22日（水）

共催シンポジウム6A　シーズをどうやって実際に事業化するか？
共催シンポジウム6B　スタートアップ・エコシステム
ワークショップ5　持続可能な研究環境に関する提言
ワークショップ6　科学の場に参加する"ハードル"を取り除くには
～全ての人が科学を楽しむ場を作るために～
共催シンポジウム7　エネルギーの国際政治経済
ワークショップ7　JAASで社会連携は可能か？
ワークショップ8　JAAS若手企画セッション「私たちは”科学”をどう捉えていくべきか
～豊かな社会を目指して～」

◆6月23日（木）

共催シンポジウム8A　カーボンニュートラル
共催シンポジウム8B　林業イノベーション
ワークショップ9　文系大学院修了者のキャリアパスを考える
共催シンポジウム9　研究公正の推進のために必要な取り組みとは？研究者、行政、社会の取り組み
共催シンポジウム10　Easing the path towards open science for researchers
ワークショップ10　異分野融合研究のためのファシリテーション
ワークショップ11　科学・研究・大学のことを何でも聞いてみよう
ワークショップ12　広報・アウトリーチWG紹介セッション　「伝わる」文章を書こう！

◆6月24日（金）

総会
閉会式

データ

◆プログラム数　※ポスターセッションと交流会を除く
・ハイブリッドプログラム　10件
・オンラインプログラム　21件

◆一般演題数（ポスター発表数）　99件

◆参加者数
・ハイブリッド開催　304名（内Web参加123）
・オンライン開催　延べ参加者数　3063名

CHECK

第1回総会・キックオフミーティングの公式サイトにはプログラム集やなど、より詳しいコンテンツが掲載されています。

第1回総会

スポンサー一覧

ダイヤモンドスポンサー

Remeet REMOTE × MEETING
Srust
Deloitte. デロイト トーマツ
TEL TOKYO ELECTRON
GLOBAL LEARNING CENTER

プラチナスポンサー

ONLINE CONFE
editage publish & flourish 20 years
Cross Marketing
BIO IMPACT
ネオサポ NEXT ALL Support of Researchers
RKHD group TIKAHEN MHCリユースサービス ワールドインデックスRD

ゴールドスポンサー

Air Liquide
Gleam
The Jackson Laboratory
文部科学省 学術変革領域研究 学術研究支援基盤形成 生命科学連携推進協議会
理系漫画制作室 SCIENCE MANGA STUDIO
USACO

シルバースポンサー

株式会社エウサピア

ブロンズスポンサー

株式会社Splink　バイオリサーチセンター株式会社　フナコシ株式会社
有限会社メルクエスト　株式会社 羊土社

共催セミナー

藤田医科大学 FUJITA HEALTH UNIVERSITY
WILEY
ISRAEL 70
JST 科学技術振興機構 Japan Science and Technology Agency
editage publish & flourish 20 years
KYUSHU UNIVERSITY
SPRINGER NATURE
Deloitte. デロイト トーマツ
GLOBAL LEARNING CENTER
JST-RISTEX

広告協賛

カクタス・コミュニケーションズ株式会社　東京エレクトロン株式会社
公益財団法人　光科学技術研究振興財団　株式会社ベネッセコーポレーション　株式会社薬研社

企業展示

小原医科産業株式会社

寄付

株式会社カイルアサービス　三菱電機株式会社

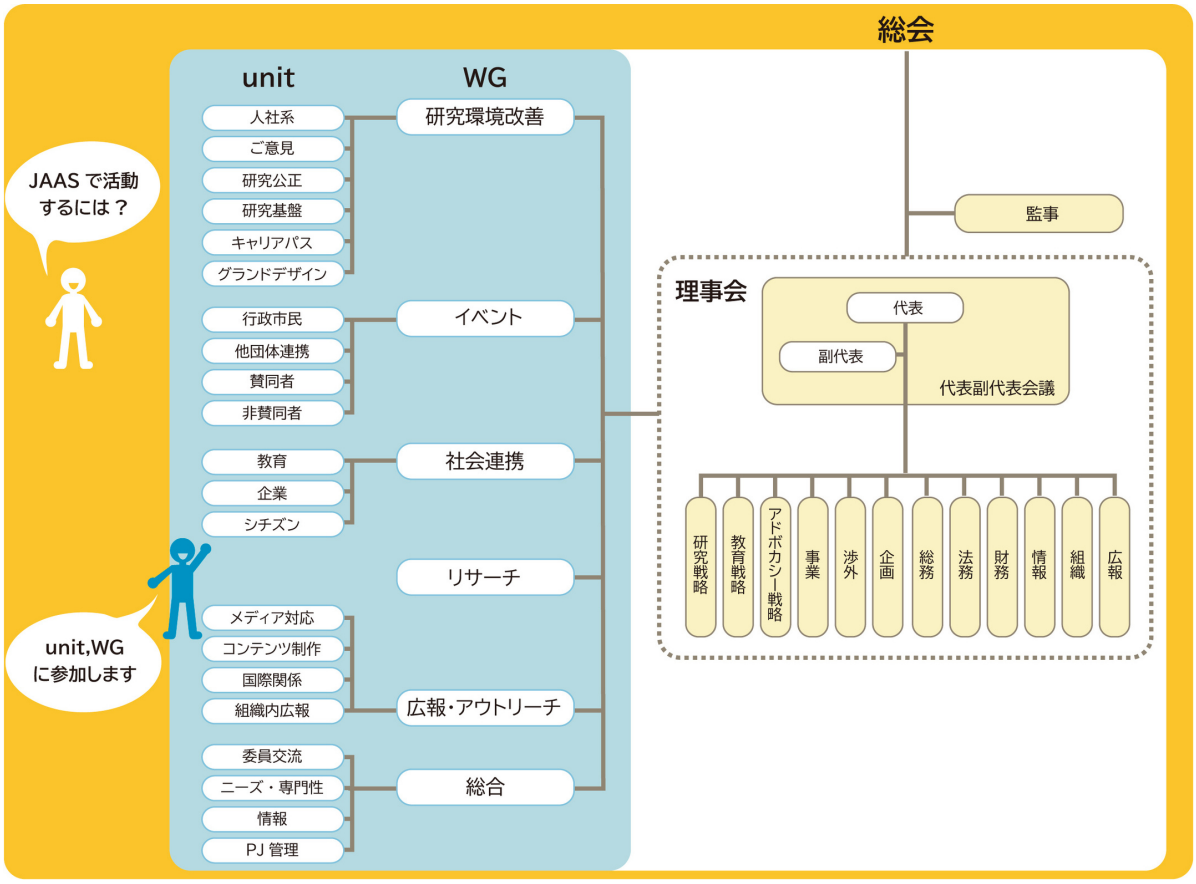
第1回総会・キックオフミーティングにご参加くださったみなさま、ご協賛・ご後援・ご支援くださったみなさま、そしてボランティアとして事前準備や当日会場業務に従事してくださったみなさまに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

第1回総会・キックオフミーティング　実行委員会/プログラム委員会

ＪＡＡＳの活動

活動の場＝ワーキンググループ（WG）

JAASには日常的な活動の場としてワーキンググループ（WG）という枠組みがあり、「研究環境改善 WG」「イベント WG」「社会連携 WG」「リサーチ WG」「広報アウトリーチ WG」「総合 WG」という６つのWGが活動しています。正会員は WG に所属し、志を同じくするメンバーとともに日本の科学を元気にするための活動を進めることができます（２つ程度のWGに所属するメンバーが多いです）。さらに、WG内にはユニット（unit）があり、各WG が掲げる目的を実現するために具体的な取り組みを企画し、実際に活動していくことができます。 WGへの参加は強制ではなく、あくまでも任意です。WGに所属していない方でも、会員同士の交流イベントや、JAASの公式イベントに参加できるほか、有志で新たな活動を始めることも可能です。



主なコミュニケーションツール

Slack（スラック）：
ほぼすべての活動は ここから始まります！ オンラインにてテキストベース （文字や絵文字） でやり取りのできるチャットツールです。 登録を希望した正会員全員が入れる「全体ワークスペース」 と、WGごとに分かれた 「WGワークスペース」 があります。

Zoom（ズーム）：
オンラインにて複数人数でのビデオ通話が可能なツールです。ミーティングの都度、メールやSlackを介して、主催者より案内 （参加用リンク） が 送られます。

※ Slack の利用規約に基づき 16 歳未満の方は対象外ですのでご了承ください。

研究環境改善WG

誰もが元気に科学に取り組むことのできる環境。それを日本で実現します。

目的

日本の科学を取り巻く環境・仕組みの改善を目指します。特に、日本の科学の危機の大きな原因と考えられているキャリアパス問題、基盤的研究費の問題などについて、サステイナブルなグランドデザインを検討・提案し、抜本的改善を試みます。

上:企画ポスター　下:科学技術政策担当大臣への提言の手交
https://jaas.science/2022/04/26/10_trillion_fund_report/

組織構成

- **グランドデザイン検討unit：**
  日本の研究力低下の要因の分析や、日本の科学技術が目指すものを議論し、グランドデザインを検討しています。政治家や官僚などの科学行政に関わる方々、マスメディアや一般市民の方々との対話を通じてのアドボカシー活動も行います。
- **研究基盤検討unit：**
  研究基盤の理想像を描いたり、現状の研究基盤を明らかにしていきます。また、理想像を目指す上での手段・経路を検討し、容易に理解することができる提言としてまとめていきます。
- **キャリアパス検討unit：**
  研究人材の多様なキャリアパスの実現を目標とし、シンクタンク的な機能を担い、その実現に向けた取り組みを行います。
- **人文社会系unit：**
  人文社会科学系の視点からの研究環境改善や、人社系の社会的価値を高めるための活動として、人社系勉強会、人社系異分野交流会などを実施します。
- **研究公正推進unit：**
  社会と広く対話することを通じて、研究者に求められる理想的な姿勢を明らかにしていきます。研究者が社会から信頼を得る上で必要な公正な姿勢を表す「研究者の行動規範」を提言します。

活動実績

研究環境の問題や背景をゼロベースから議論し、改善することを目的とするグランドデザイン検討unitが全般的な議論を行っています。特に、政府が提案し国会や国民の間でも議論が高まっている「10兆円規模の大学ファンド」と地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージの使途について、これまでのこのunitでの議論もふまえ、2022年4月に提言を発出しました。国内大学での科学研究や教育のための予算や人材支援についての提言の考え方をご理解いただき、有効な施策に結びつけることを目的として、政府関係者、国会議員、大学関係者などとの対話を通じたアドボカシー活動を実施しました。また、キャリアパス検討unitでは、科学関係人材のキャリアパスの諸問題についての内部議論を深めるとともに、学生団体BEASTとともに博士課程後のキャリアを考えるオンラインイベントを開催しました（2021年11月13日）。人文社会系unitでは、人文社会科学系分野の研究環境課題の抽出や解決策の模索に取り組んでおり、人社系unit勉強会を9回、異分野交流会を1回開催しました。研究公正推進unitでは、社会と広く対話することを通じて、研究者に求められる理想的な姿勢を明らかにすることを目的としており、研究公正に関係するいくつかの外部イベントに構成員が参加することで問題の議論を行いました。研究基盤検討 unitでは、研究設備の共用や研究支援人材の活用など、現状の研究基盤に関わる様々な問題を改善することを目的として議論を進めています。

イベントWG

『全部一人で出来なくてもいい』
やれることから、何より自分自身が楽しみながらイベントを開催します！

目的

イベントWGでは、JAASの使命である対話を通じた科学技術の振興を目指し、対話の場として科学をテーマとする様々なイベントを企画・開催していきます。科学に関わるすべての人々が対話し、また科学技術の振興のために何をするべきかを議論することで、仲間を集めながら実際に行動することを促します。さらに、イベントの具体的なアイデアや動機をもつ方々が、実際に企画・開催していくための受け皿としても活動していきます。

2021.04.04 第 1 回 意見交換会の様子

組織構成

- **unit 1（賛同者との交流）：**
JAASを応援してくださる方々との交流の場を設け、本会への会員登録や継続的な企画への参加を促すことを目的としています。定期的な活動報告も兼ねた勉強会等を実施することで、JAAS独特の経験をご提供したいと考えています。

- **unit 2（非賛同者との交流）：**
本会への参与まで踏み切れていない方やネガティブな印象をおもちの方との交流により、団体としての改善点などを模索しています。TwitterなどのSNSで寄せられた本会へのコメントを基に、コメント投稿者との意見交換会を定期的に実施しています。（※後述の「その他の活動」をご覧ください）

- **unit 3(行政/企業/市民/教育関係者との交流)：**
領域別 / 超領域的なイベントを開催し、それぞれの課題やニーズを聴取します。科学そのものの楽しさや科学に携わる様々な「人・職業」の魅力を発信することにより、異分野理解の促進や将来の科学人材の増加を目指します。

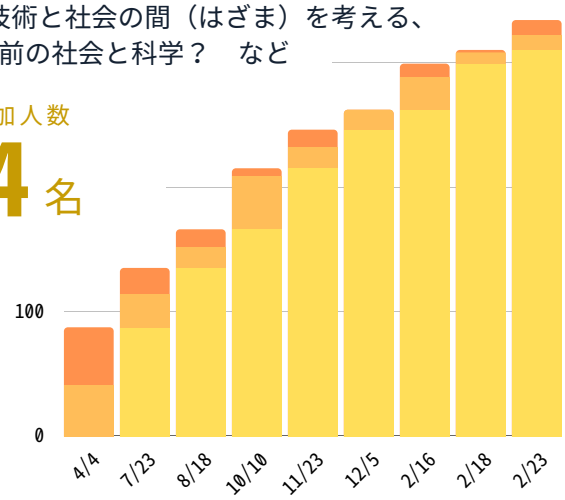
活動実績

2021.11.13
博士課程後のキャリアを考えるオンラインイベント
（学生団体BEAST、JAAS研究環境改善WG 等と共催）

＜公開研究会（講演会 ＋ パネルディスカッション）＞
テーマ例：宗教と科学、非営利組織のガバナンス、
科学教育について、など
（JAAS 社会連携WGとの共催）

＜意見交換会（対話イベント）＞
2021年度に 計9回の対話を実施
テーマ例：第6期科学技術・イノベーション基本計画、
科学技術と社会の間（はざま）を考える、
100年前の社会と科学？ など

延べ参加人数
334 名



社会連携ＷＧ

「やりたいけど、一人ではできなかったこと」をJAASで。

目的

文字通り、企業や社会と連携をしながら、日本の科学、研究を活性化させるためのWGです。

研究を科研費だけではなく、もっと企業から、またはシチズンサイエンス、クラウドファンディングからの新しい研究費の流れを活性化できないか。
企業としてもアカデミーとよりうまくつながることで、ビジネスを活性化できないか、キャリアパスとして活性化できないか、を目指します。
またシチズンサイエンスの活性化、研究者観点からの教育コンテンツはできないか、様々なミッションがてんこ盛りなのですが・・・
様々な事が議論されましたが・・。初年度は、予算やマンパワーとの兼ね合いにより、出来る事から着々とを、モットーに、現時点では大きく３つのunitに集約させて、動いております。

組織構成

- **シチズンサイエンスunit：**
シチズンサイエンスの実践法の浸透、持続した活動として定着するための議論や提言をめざします。

- **企業コミュニケーションunit：**
1 アカデミアと企業とのコミュニケーションのあるべき姿を考え、実現のために当団体が行うべき有形無形の支援を考えます。
2 当団体がどういったベネフィットを提供できるかを調査し、企業が当団体の活動に参画しやすくするための環境整備を支援します。
3 企業と研究者のマッチングサービスの企画・開発をめざします。

- **国内教育プログラムunit：**
研究者と子供、学生、保護者や社会人を繋ぐ教育のコンテンツやイベントの提供します。

活動実績

シチズンサイエンスでは、すでに精力的に活動されている組織と組んでみて、外部向けイベントに向けて動いてます。企業コミュニケーションでは、科学関係の経営者をお呼びして、何がJAASでできるのか勉強会もかねた懇親会「SciBiz（サイビズ）」を4回開きました。「属性の異なる人々が議論すると新しいことが生まれそう」「それを仕組み化できたら、JAAS流オープンイノベーション」「シーズの目利きができる人材育成プログラムや資格制度も開発できるかも」などの意見がでました。教育プログラムは、九州大との連携をして、研究者が社会と連携するうえで必要な能力を養うためのオンライン講座を３回シリーズで開催しました。初年度だからこそ、内部の連携を中心に深めた年でした。

リサーチWG

JAASの持つ集合知を可視化し、科学振興に貢献します。

目的

リサーチWGの目的は、社会で問題となっている課題や当会の委員が問題意識を持つ様々な課題を調査対象とし、JAASの使命を達成するための調査活動などを統括し、調査テーマの募集、実施、結果の公表を行うことです。

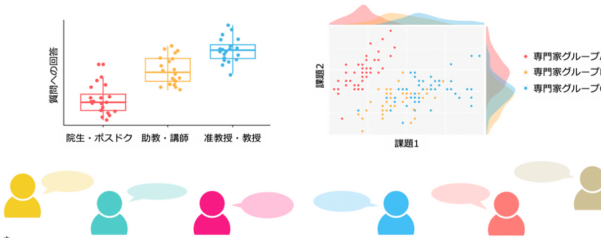
調査対象となる可能性のあるものとして、科学関係者のキャリアパスやワークライフバランス、科学者とそれを取り巻く社会についての意識などのほか、各国の研究・教育行政、コロナ禍におけるリモート授業の実態などがあります。これらを通して、JAASとしての集合知を可視化していく活動を進めます。

組織構成

リサーチWGでは、ユニット活動は行われておらず、WGとして活動を行ってきました。ユニットの設置も含め、WGのメンバーのみならず、活動の提案を随時募集しています。

「集合知」の可視化

多様な意見を科学的に分析・視覚化して発信



活動実績

【集合知の可視化】

当会の会員や科学コミュニティのメンバーの意見・意思などを集約し、提言のような一つにまとめる形式だけでなく、多様な意見・意思を科学的に分析・視覚化し、情報として発信することを検討しています。科学的にもはっきりとした答えの出ていない問題に対して、様々な専門分野の多様な視点からの意見をその違いが分かるように可視化することを想定しています。また、日本の科学をとりまく研究環境などについて、これまで十分に可視化されていなかった学生や若手研究者なども含めた方々の声や実態を「見える化」して政策提案に反映していくことも検討しています。

【新型コロナウイルス関連についてのアンケート調査】

試験的な試みとして、日本版AAASの賛同者・委員の方々に、新型コロナウイルス（新型コロナ）に関するアンケートを行いました。809名にアンケート依頼のメールを送り、270件の有効回答を得て、「集合知」の可視化を試みました。
詳細は下記報告書をご覧ください。
https://jaas.group/survey-covid19/

【「10兆円規模の大学ファンド」などについての提言関連のアンケート調査】

研究環境改善WGより、「10兆円規模の大学ファンド」と地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージの使途についての提言が発出されましたが、これに関連して「「10兆円規模の大学ファンドと、それに対する提言案についてのアンケート」が実施され結果のまとめが報告されています。このアンケートの実施にも、その結果の取りまとめにも、リサーチWGで検討・議論している「集合知の可視化」の考え方や方法が活用されています。

広報・アウトリーチWG

JAASの会員が一生懸命取り組んだ活動を届けます。日本にも、世界にも。

目的

広報・アウトリーチWGでは、公式情報を発信する広報活動を通して、JAASの存在を社会に周知し、認知度の向上を目指します。活動をともにする会員や応援してくださる方々を増やすことで、科学振興への貢献につなげます。アウトリーチ活動では、JAAS内外の垣根を超えて、科学に関わる多様な人々との対話や相互理解を深めるコミュニケーションを実践する機会を提供します。

これらの活動を積極的に推進する4つのunitが、日本の科学を元気にします！

広報の主役である公式webサイト

組織構成

- **国際関係unit：**
  多様な国籍や文化圏の人々が科学の魅力を体感できる環境をつくります。
- **コンテンツ制作unit：**
  さまざまなコンテンツを用いて科学に関わる人たちと対話していきます。
- **組織内広報unit：**
  組織内の情報共有を支援し、円滑な組織内交流を促します。
- **メディア対応unit：**
  JAASについて周知するため・科学振興のための広報活動を行います。

活動実績

具体的な広報活動として、公式webサイト、Twitter、メルマガなど色々なツールを使って、日本版AAAS設立準備委員会やJAASについての情報発信を進めてきました。Webサイトには、組織概要や入会案内、JAAS主催のイベント案内、会員からの情報提供などを掲載してきました。Twitterでは最新情報を速やかに配信し、メルマガでは会員向けにニュースやイベント案内などを毎月お送りしています。

アウトリーチ活動では、メンバー内外に向けて様々なイベントを開催してきました（下表）。

2021年度は日本版AAAS設立準備委員会の組織名での活動が多かったですが、2022年度はJAASとしての活動を積極的に展開する予定です。

最新情報は公式twitterでチェック！

月	イベント名	内容
6月	【こびナビ - COV-Navi】に学ぶ ～志と広報戦略と～	新型コロナウイルス感染症に関する情報発信をしているこびナビの担当者を講師に迎え、広報戦略の勉強会を開催しました。
7月	EuroScienceへのヒアリング	ヨーロッパの科学振興組織であるEuroScienceの事務局長らと意見交換を行いました。
7月	委員長ラジオ	委員長からメンバーに向けて、組織の活動やJAAS設立への進捗状況などを説明しました。
9月	職業講話	中学生を対象に、病理医の仕事内容や社会的意義、やりがいについて紹介しました。

【こびナビ - COV-Navi】に学ぶ ～志と広報戦略と～ では、
多くのメンバーにとって広報の大切さを学ぶよい機会となりました。

職業講話では、医師であるメンバー（左）がオンラインのスタイルで公立中学校にてアウトリーチ活動を行いました。生徒たちは1人1人タブレットで、病理組織の画像を使い、病理医の職業体験を行うことできました（右）。

総合WG

縁の下の力持ち！

会員１人１人のため、会の円滑な運営のため、痒い所に手が届く「孫の手活動」

目的

総合WGは、会員１人１人が満足のいく活動ができるように、会の運営が円滑に進むように、縁の下の力持ちとしての活動に取り組んでいます。

会員同士の何気ない交流を促進する、自分達の興味を発信・共有する場を提供することで、既存のプロジェクトをより良いものにしたり、新たな取り組みへのきっかけ作りになることを期待しています。

また、会全体の情報や企画を整理することで、透明性や公平性を担保しながら、円滑な運営のサポートを目指しています。

組織構成

- **unit1 委員間交流イベント：**
  委員のための交流イベントを運営しています。
- **unit2 ニーズ・専門性の把握：**
  委員の皆さんからのご意見を集約し、次のプロジェクトに繋げるための提案を行います。
- **unit3 情報・データ管理：**
  会内での情報やデータを記録・整理し、透明性・公平性のある運営をサポートします。
- **unit4 プロジェクト管理：**
  新規提案の企画や進行中の企画を把握し、良い方向に進められるように一緒に考えます。

活動実績

数	開催日	曜日	時間	テーマ
1	2021/4/18	日	9:00~10:00	フリートーク
2	2021/4/28	水	20:00~21:00	フリートーク
3	2021/5/2	日	9:00~10:00	フリートーク
4	2021/5/12	水	20:00~21:00	フリートーク
5	2021/5/16	日	9:00~10:00	環境カフェ形式の対話
6	2021/5/26	水	20:00~21:00	日本版AAAS設立趣意書の検討
7	2021/5/30	日	9:00~10:00	フリートーク（設立趣旨書をテーマにした対話）
8	2021/6/9	水	20:00~21:00	フリートーク
9	2021/6/13	日	9:00~10:00	フリートーク
0	2021/6/23	水	20:00~21:00	科学教育
1	2021/6/27	日	9:00~10:00	よく回る組織運用
2	2021/7/11	日	9:00~10:00	「対話と協働」による科学の振興について
3	2021/7/14	水	20:00~21:00	研究キャリアパスにまつわる疑問・不安・要望
4	2021/7/25	日	9:00~10:00	フリートーク
5	2021/7/28	水	20:00~21:00	フリートーク
6	2021/8/1	日	9:00~10:00	ガンダムの世界観を通した現実世界の地球・宇宙の未来とは？　ガンダムオープンイノベーション申請を目指して
7	2021/8/18	水	20:00~21:00	マイクロ波聴覚効果とは何か？分野間での認識の違いはどこにあるのか？
8	2021/8/25	水	20:00~21:00	小学生の理科教育について
9	2021/8/29	日	9:00~10:00	フリートーク
0	2021/9/12	日	9:00~10:00	研究者メンター事業の紹介とビジネスモデル検討会
1	2021/9/15	水	20:00~21:00	科学教育の格差と分断を考える
2	2021/9/26	日	9:00~10:00	組織外活動マニュアルの検討
3	2021/9/29	水	20:00~21:00	フリートーク
4	2021/10/17	日	9:00~10:00	「日本の科学をもっと元気に！」を可視化しよう
5	2021/10/20	水	20:00~21:00	SNS、特にTwitterを使った科学の対話ーその可能性と問題点
6	2021/10/27	水	20:00~21:30	大阪・関西万博、特にTeamExpo2025への参加について
7	2021/10/31	日	9:00~10:00	フリートーク（地学）
8	2021/11/7	日	9:00~10:00	国内の研究開発予算分析のJAAS活動の提案
9	2021/11/10	水	20:00~21:00	人文社会系ユニット企画　異分野交流会について
0	2021/11/17	水	20:00~21:00	日本の大学のFD活動について
1	2021/11/24	水	20:00~21:00	大学改革方向性検討グループによる企画（仮）
2	2021/12/1	水	20:00~21:00	大学改革方向性検討②「世界と伍する大学」の今後
3	2021/12/12	日	9:00~10:00	webアクセシビリティを考えてみませんか？
4	2021/12/15	水	20:00~21:00	「JAAS出版会（仮称）」構想の提案
5	2021/12/19	日	9:00~10:00	アドボカシーWG設置提案
6	2022/1/19	水	20:00~21:00	科学教育と研究のエクセレンスを考えるー科学者の珠玉の研究名言に学ぶ
7	2022/1/30	日	9:00~10:00	対話イベント「環境カフェ」と新たな「対話カフェ」の継続開催について
8	2022/2/27	日	9:00~10:00	AAASの「SCIENCE」ニュース対話会
9	2022/3/13	日	9:00~10:00	JAAS「環境カフェ方式」対話イベント開催に向けての検討
0	2022/3/16	水	21:00~22:00	JAASにおける出版の構想を考える会②

委員間交流イベントの開催

委員同士の交流促進の場として定期的に開催しています。
イベントでは、ご自身の専門などを紹介・共有したい、新しい企画について他の人の意見も聞いてみたい、同じ興味を持つ人を集めたいなど、それぞれの目的でテーマを設けて開催する回と、特にテーマを決めずにその時の参加者同士の関心のある内容についてフリートークをする回があります。

延べ参加人数

450 名

WGの垣根を越えて参加者同士が交流をする機会になったり、新規プロジェクトの立ち上げで参加者を募ったり、企画を練り上げる場としても活用されています。

その他の活動

意見交換会の実施

「学際研究」に関する対話

京都大学の宮野公樹さんをお招きして「学際研究」について対話しました。参加者は7つのグループに分かれ、それぞれが発表を聴いて感じたことなどについて、１時間にわたり対話しました。

- 学際研究において何が起こっているかをあらためて認識できた。他の分野・立場の人たちと対話・協同していくうえで言葉選び・言葉の意味の共有が必要であると感じた。
- 学際研究とはどのようなものか、どのような問題があるかを知ることができ、異分野間のコミュニケーションの重要性が感じられた。
- 問いは、誰が持ってもいいし、誰が発信してもいい。

委員間交流イベント
10 月 17 日 (日)9:00~10:00

みんなで考えよう！
社会と科学の“ありたい姿”

「科学が元気な状態」を具体化するため、科学史家の隠岐さや香さん（名古屋大学）に100年前の社会と科学の姿を解説していただきました。その解説を聞き、参加者が思い描いた100年後の社会と科学の理想の姿について対話しました。その対話した内容をJAASとして取りまとめ、社会全体で共有し、これからの人類と社会のための対話と協働に繋げていけるようにしました。

人文社会系異文化交流会

様々なバックグラウンドを持つ24名の方にご参加いただき、人文社会系科学をとりまく現状について活発な議論が交わされました。「キャリアパス」や「博士論文・大学院の過ごし方・留学」、「人文社会系の研究の魅力を社会に伝えるには？」というテーマで、それぞれの立場から問題意識を共有しました。

入会・継続案内

JAASでは、日本の科学を元気にするための活動を企画・提案・実行したい方、科学振興のためのイベントや意見交換会などに参加したい方、JAASの趣旨や事業に賛同・共感して支援してくださる方（個人・法人・各種団体）を広く募集しています。

	会員種別と会費		
	正会員※2	賛助会員	協賛会員
年会費※1	A：10,000円 B：4,000円 C：0円	3,000円/1口 ※口数応相談	50,000円/1口 ※口数応相談
対象	個人	個人	法人/個人

		2022年度　会員資格と特典		
		正会員	賛助会員	協賛会員
資格	総会での議決権	○	ー	ー
	理事・監事の選挙権・被選挙権	○	ー	ー
	WG・UNIT等の活動への参加	○	ー	ー
特典	会員限定コンテンツの配信	○	○	○
	年次報告書の配布	○	○	○
	総会へのオブザーバー参加	ー	○	○
	イベント等での発表	○	ー	ー
	会員限定イベント・交流会への参加	○	ー	○
	広告宣伝料の割引	ー	ー	○

正会員入会　賛助会員入会　協賛会員入会

※1 年会費の有効期間は4月1日から3月31日までです。
年会費は入退会の時期にかかわらず1年分をお申し受けし、会費の月割りや返金はいたしません。
ただし、3月1日から31日に入会手続きをされた方は翌年度扱い（4月1日付）とさせていただきます。

※2 正会員B（年会費4,000円）：18歳以上30歳未満、障害者およびそれに準ずる方。
正会員C（年会費0円）：18歳未満の方。
その他、経済的困窮や病気などで困難を抱えている方は割引を検討しますので、
お問い合わせフォーム（右のQRコード）よりお気軽にご相談ください。

お問い合せ

メディア掲載実績

日本版AAAS設立準備委員会から日本科学振興協会/JAASに至るまでのメディア掲載実績です。
詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

JAAS公式HP

https://jaas.science/

2022.01.19　日本心理学会の「心理学ワールド」誌に宮川剛・研究環境改善ワーキンググループ・リーダーが「日本の科学を元気に！―「日本版AAAS」による社会との対話の試み」と題して寄稿しました。

2021.07.19　THE KYOTO で馬場基彰委員長の研究と本会についての記事が掲載されました。
現象解明 孤高の夢 京大”アナキズム” #7 没頭の衝動 -馬場基彰 特定准教授 ~前編~
現象解明 孤高の夢 京大”アナキズム” #7 没頭の衝動 -馬場基彰 特定准教授 ~後編~

2021.05.04　日本経済新聞「私見卓見」に馬場基彰委員長が「科学振興に向けた官民の対話を」と題して寄稿しました。

2021.04.16　読売新聞朝刊の「なるほど科学＆医療」ページにて、「日本版AAASに期待」と題して当会の活動が紹介されました。

2021.03.29　医学会新聞に宮川剛委員が「日本の科学を元気に！ 『日本版AAAS』設立へ」と題して寄稿しました。

2021.03.04　毎日新聞にて、「日本版ＡＡＡＳ 設立目指す若手研究者ら 研究力低下に危機感／科学を社会のために」と題して当会の紹介記事が掲載されました。

2021.02.28　日本経済新聞にて、「研究戦略、データと現場の声　活用手探り」と題して当会の紹介記事が掲載されました。

2021.02.28　CBCラジオ番組「燃えよ！研究の志士たち」に小野悠委員長が出演しました。

2021.02.19　日刊工業新聞電子版にて、「社説／日本版ＡＡＡＳ設立 科学の多様性広げる議論の場に」と題して当会の紹介記事が掲載されました。

2021.02.15　JSTのJIPSTIにて、「日本版AAAS設立準備委員会、JAAS設立のための委員会の発足を発表」と題して当会の紹介記事が掲載されました。

2021.02.15　「週刊 文教ニュース」にて、『NPO法人「日本科学振興協会』設立に向けた準備委員会の発足と活動内容についての紹介記事が掲載されました。

2021.02.09　ラジオ番組「OH! HAPPY MORNING」（JFN）に小野悠委員長が出演しました。

2021.02.06　読売新聞にて、「若手研究者ら、科学普及のＮＰＯ法人設立へ…注目論文減少や理科離れに危機感」と題して当会の紹介記事が掲載されました。

2021.02.05　科学新聞にて、「『対話通じて科学技術振興』日本版AAAS設立準備委発足」と題して当会の紹介記事が一面に掲載されました。

2021.02.02　中日新聞にて、「日本版の科学振興団体が６月にも発足へ」と題して当会の紹介記事が掲載されました。

2021.02.01　M3にて、「『日本の科学をもっと元気に！』、日本版AAAS 設立準備委員会発足　若手研究者立ち上がる、6月の設立目指す」と題して当会の紹介記事が掲載されました。

2021.02.01　朝日新聞にて、「『日本の科学を元気にする普及団体を』若手らが設立へ」と題して当会の紹介記事が掲載されました。

2021.02.01　日刊興業新聞にて、「日本版ＡＡＡＳ、協会設立へ準備委発足 対話通じ科学振興」と題して当会の紹介記事が掲載されました。

2021.02.01　毎日新聞にて、「日本の科学を元気に！『日本版AAAS』にかける若手研究者の思い」と題して当会の紹介記事が掲載されました。

事業報告

NPO法人は毎事業年度初めの3か月以内に所轄庁に事業報告書等の書類を提出することが義務付けられています。日本科学振興協会は法令に則り、2022年6月に所定の書類を東京都へ提出し、2021年度（令和3年度）事業について報告いたしました。

第６号様式（第１０条関係）

令和４年６月２５日

東京都知事　　殿

収受
-4. 6. 27
生活文化スポーツ局都民生活部
管理法人課

郵便番号　101-0003
特定非営利活動法人の主たる事務所の所在地
　東京都千代田区一ツ橋二丁目4番4号
特定非営利活動法人の名称
　特定非営利活動法人日本科学振興協会
代表者氏名　　小野　悠
　　馬場　基彰　　印
電話番号　　03-3230-2744
ﾌｧｸｼﾐﾘ番号　　03-3230-2479

事業報告書等提出書

（令和３年度）

前事業年度(令和４年２月２２日から令和４年３月３１日まで)の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第２９条（同法第５２条第１項（同法第６２条において準用する場合を含む。）の規定により読み替えて適用する場合を含む。）及び特定非営利活動促進法施行条例第４条の規定に基づき、下記の書類を提出します。

記

１　事業報告書
２　活動計算書
３　貸借対照表
４　財産目録
５　前事業年度の年間役員名簿
６　前事業年度末日における社員のうち１０人以上の者の名簿

備考
１　特定非営利活動促進法第５２条第１項（同法第６２条において準用する場合を含む。）の規定により提出する場合は、「特定非営利活動法人の主たる事務所の所在地」欄に都内における事務所の所在地を併記してください。
２　５の書類は、前事業年度において役員であった者全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無について記載した名簿のことです。

(日本産業規格A列4番)

書式第１２号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和３年度　　事　業　報　告　書

特定非営利活動法人　　日本科学振興協会

１　事業の成果

令和 3 年度は，組織基盤の確立に注力しつつ、あらゆる人々が科学の振興について対話できる交流会や 意見交換会等の開催、科学やその研究を身近に感じてもらうためのイベント開催等を行った。また、科学教育・研究開発の体制・制度改善等に関する社会への提言および働きかけに向けて準備を進めた。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【　０　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
定款第５条(1)1 科学技術振興等に関する調査研究事業	実施しなかった						
定款第５条(1)2 科学技術振興等に関する資料情報の収集および提供事業	実施しなかった						
定款第５条(1)3 科学技術振興等に関する機関誌および図書の刊行事業	実施しなかった						
定款第５条(1)4 科学技術振興等に関する人材育成事業	社会連携のためのファシリテーション講座を開催	3/5, 26	オンライン	5	一般市民	50	0
	研究・教育に活かすディベート講座を開催	3/26	オンライン	5	一般市民	50	0
定款第５条(1)5 科学技術振興等に関する普及推進事業	「100 年後の社会と科学の理想の姿」講師：隠岐さや香　講演についての意見交換会を開催	2/23	オンライン	7	一般市民	18	0
定款第５条(1)6 科学技術振興等に関する政策提言事業	実施しなかった						
定款第５条(1)7 科学技術振興等に関する調査研究の委託・助成事業	実施しなかった						

定款第５条(1)8 本号１乃至７に係る広報及び情報発信事業	公式ブログ，メルマガ，SNS等での情報発信	通年	オンライン	10	一般市民	不特定	0
定款第５条(1)9 国内外の関係諸機関等との連携・交流・連絡調整事業	実施しなかった						
定款第５条(1)10 その他法人の目的を達成するために必要な事業	実施しなかった						

（２）その他の事業　　（事業費の総費用【　０　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費（千円）
定款第５条(2)1 広告掲載事業	実施しなかった				
定款第５条(2)2 研究受託事業	実施しなかった				

書式第１４号（法第２８条関係）

事 業 報 告 用

令和３年度　活動計算書（その他事業がある場合）

特定非営利活動法人　日本科学振興協会

（単位：円）

科目	特定非営利活動に係る事業 金額	特定非営利活動に係る事業 小計・合計	その他事業 金額	その他事業 小計・合計	合計
【A】　経常収益					
1　受取会費		118,000		0	118,000
正会員受取会費	118,000				
賛助会員受取会費					
2　受取寄附金		0		0	0
受取寄附金					
施設等受入評価益					
3　受取助成金等		0		0	0
受取補助金					
4　事業収益		0		0	0
事業収益					
事業収益					
事業収益					
事業収益					
5　その他の収益		0		0	0
受取利息					
経常収益計		118,000		0	118,000
【B】　経常費用					
1　事業費					
（1）人件費		0		0	0
給料手当					
役員報酬					
退職給付費用					
福利厚生費					
（2）その他経費		0		0	0
会議費					
旅費交通費					
施設等評価費用					
減価償却費					
印刷製本費					
事業費計		0		0	0
2　管理費					
（1）人件費		0		0	0
役員報酬					
給料手当					
退職給付費用					
福利厚生費					
（2）その他経費		282,510		0	282,510
消耗品費	4,980				
水道光熱費					
通信運搬費	13,200				
地代家賃					
旅費交通費					
減価償却費					
広告宣伝費	264,000				
雑費	330				
管理費計		282,510		0	282,510
経常費用計		282,510		0	282,510
当期経常増減額　【A】－【B】・・・①		-164,510		0	-164,510
【C】　経常外収益					
固定資産売却益					
過年度損益修正益					
経常外収益計		0		0	0
【D】　経常外費用					
固定資産売却損					
災害損失					
過年度損益修正損					
経常外費用計		0		0	0
当期経常外増減額　【C】－【D】・・・②		0		0	0
経理区分振替額　・・・③					
税引前当期正味財産増減額　①＋②＋③・・・④		-164,510		0	-164,510
法人税、住民税及び事業税　・・・⑤					
前期繰越正味財産額　・・・⑥					
次期繰越正味財産額　④－⑤＋⑥					-164,510

書式第１５号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和３年度　貸借対照表

特定非営利活動法人 日本科学振興協会

（単位：円）

科　目	金　額	小計・合計
【Ａ】　資　産　の　部		
１　流動資産		
現金預金		
未収金	462,000	
棚卸資産		
流動資産合計　・・・①		462,000
２　固定資産		
（１）有形固定資産		
車両運搬具		
什器備品		
（２）無形固定資産		
ソフトウェア		
借地権		
（３）投資その他の資産		
敷金		
長期貸付金		
固定資産合計　・・・②		0
【Ａ】資　産　合　計　①＋②		462,000
【Ｂ－１】　負　債　の　部		
１　流動負債		
未払金	282,510	
前受金	344,000	
流動負債合計　・・・③		626,510
２　固定負債		
長期借入金		
退職給付引当金		
固定負債合計　・・・④		0
負　債　合　計　③＋④		626,510
【Ｂ－２】　正　味　財　産　の　部		
前期繰越正味財産額		0
当期正味財産増減額		-164,510
正　味　財　産　合　計		-164,510
【Ｂ】　負　債　及　び　正　味　財　産　合　計　【Ｂ－１】＋【Ｂ－２】		462,000

書式第１６号（法第２８条関係）

令和３年度　　計算書類の注記 事　業　報　告　用

特定非営利活動法人　日本科学振興協会

１．　重要な会計方針

計算書類の作成は、 NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）よっています。

（5） 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

２．　事業別損益の状況

（単位：円）

科目	特定非営利活動にかかる事業	その他事業	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益					
１．受取会費				118,000	118,000
２．受取寄附金					
３．受取助成金等					
経常収益計				118,000	118,000
Ⅱ　経常費用					
（1）人件費				0	0
人件費計				0	0
（2）その他経費					
通信運搬費				13,200	13,200
消耗品費				4,980	4,980
広告宣伝費				264,000	264,000
雑費				330	330
その他経費計				282,510	282,510
経常費用計				282,510	282,510
当期経常増減額				△164,510	△164,510

３．　その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・　事業費と管理費の按分方法

設立期のため事業費計上及び按分無し

・　その他の事業に係る資産の状況

株式会社ベネッセホールディングスより当団体設立のための準備委員会へ1,100,000円の寄付金を受領。
ＮＰＯ法人通帳へ寄付金同額と未収入金及び未払金を相殺して入金予定としている。

令和4年度入会員より準備委員会へ一部入金があったものについては、前受金として計上しており翌年に受取会費として振替予定としている。

書式第１７号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和３年度　財産目録

特定非営利活動法人　日本科学振興協会

（単位：円）

科目	金額	小計	合計
【A】　資　産　の　部			
1　流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
未収金			
未収金	462,000		
棚卸資産			
流動資産合計　・・・①		462,000	
2　固定資産			
（1）有形固定資産			
車両運搬具			
什器備品			
（2）無形固定資産			
ソフトウェア			
借地権			
（3）投資その他の資産			
敷金			
長期貸付金			
固定資産合計　・・・②		0	
【A】資　産　合　計　①＋②			462,000
【B－1】　負　債　の　部			
1　流動負債			
未払金			
設立関連費	282,510		
前受金			
翌期入会会費	344,000		
流動負債合計　・・・③		626,510	
2　固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			
固定負債合計　・・・④		0	
【B－1】負　債　合　計　③＋④			626,510
【B－2】正　味　財　産　合　計　【A】－【B－1】			-164,510

日本の科学をもっと元気に!

JAAS
日本科学振興協会

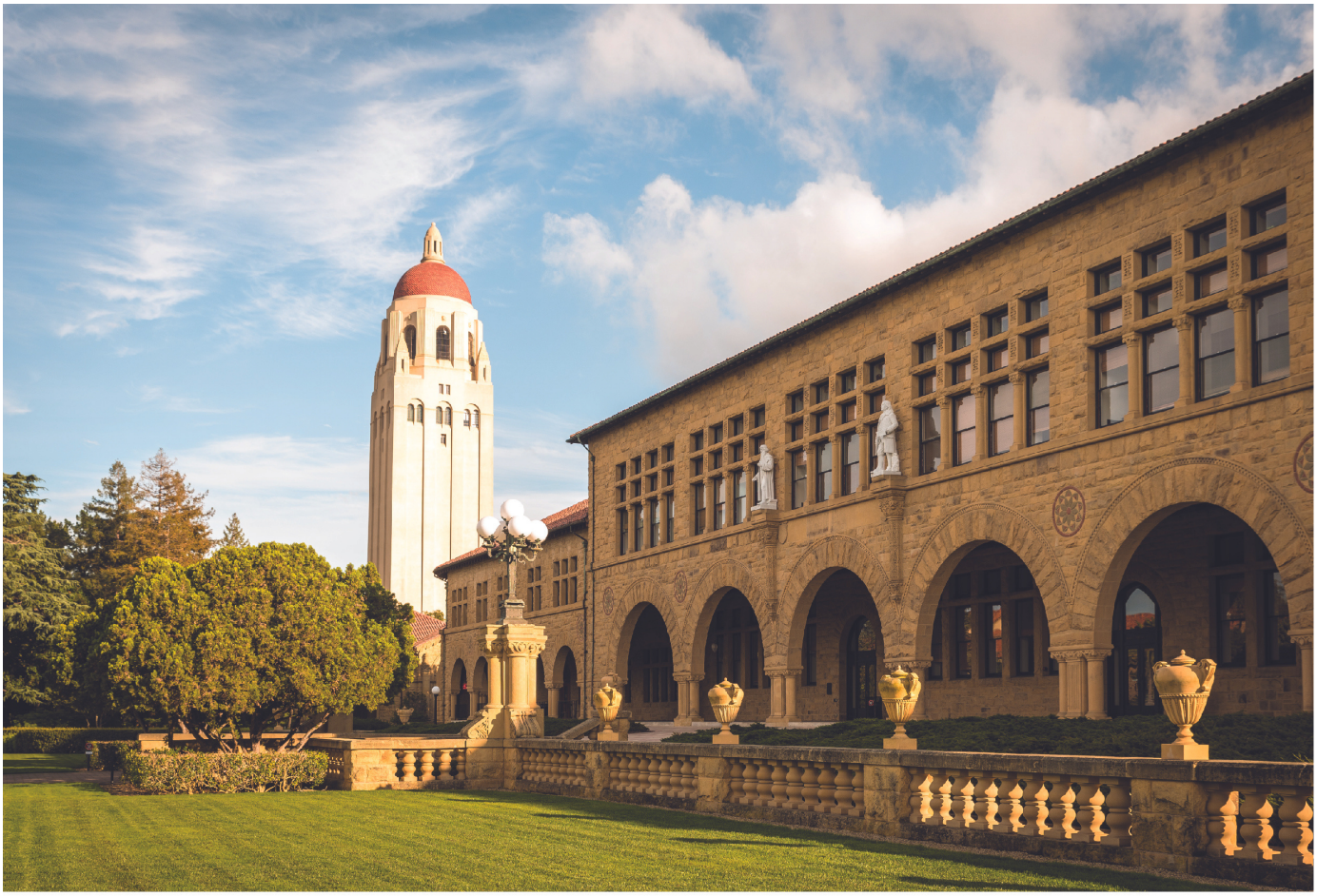
日本科学振興協会
2021年度（令和3年度）年次報告書

2022年8月31日　初版第1稿発行

特定非営利活動法人（NPO法人）日本科学振興協会

〒101-0003　東京都千代田区一ツ橋二丁目4番4号
一ツ橋別館4階　株式会社エー・イー企画 内

TEL／FAX　03（3230）2744 ／03（3230）2479
公式サイトURL　https://jaas.science/
E-mail　info@jaas.science



「世界中から進路を選ぶ」をスタンダードに

海外進学という選択肢を志望する中高生へ
グローバル進路実現をサポートします。

Route H　GLOBAL LEARNING CENTER　ベネッセ海外留学センター